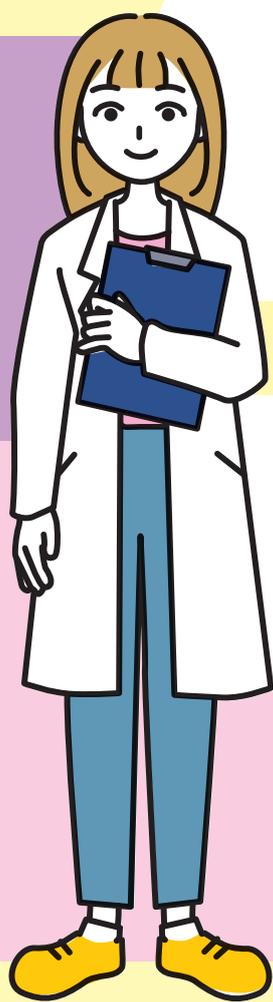


大学院に在学している方へ

2025年度

奨学金案内 ダイジェスト



独立行政法人

日本学生支援機構

JASSO Japan Student Services Organization

本冊子の 使い方

- 奨学金を申し込むにあたってこれだけは知っておいてほしいことを説明していますので、本冊子をよく読んで、奨学金の利用を検討してください。
- 奨学金利用を希望する場合は、本冊子9ページを確認のうえ、学校の指示に従って申し込んでください。
- 更に詳しい内容を知りたいときは、機構ホームページおよび「奨学金案内」をご覧ください。

「奨学金案内」は機構ホームページに掲載しています。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/in.html>



目次

はじめに 1

【奨学金の種類と貸与月額】

【申込時期】

【申込方法】

【奨学金の振込み】

第一部 奨学金制度の概要(大学院)

1. 申込資格 2

2. 第一種奨学金と授業料後払い制度の選考基準 2

① 学力基準

② 家計基準

(参考)第一種奨学金と授業料後払い制度のちがい

3. 第二種奨学金の選考基準 4

① 学力基準

② 家計基準

4. 採用後に気を付けてほしいこと 4

5. 返還について 5

6. 特に優れた業績による返還免除 6

7. 申し込むまでにやっておくこと 6

第二部 申込みから採用までの流れ 9

本冊子の各説明箇所に、機構ホームページ内にある説明ページへのリンクを掲載しています。

はじめに

日本学生支援機構の奨学金は返還の必要がある「貸与型」であり、あなた自身が受けるものです。奨学金の種類によって、対象となる要件や貸与額などが異なりますので、本冊子の内容をよく確認してください。



奨学金の種類と貸与額

種類		利子	貸与時期	貸与額	
第一種奨学金		無利子	毎月1回	修士課程相当	月額50,000円または88,000円
				博士課程相当	月額80,000円または122,000円
授業料後払い制度	授業料支援金	無利子	学校が指定する月	国公立:年額(最大)535,800円、私立:年額(最大)776,000円(この額を「支援対象授業料」という。)に、保証料相当額を加えた額	
	生活費奨学金		毎月1回	月額0円(利用しない)、2万円、4万円から選択	
第二種奨学金		有利子	毎月1回	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択 ※法科大学院は月額15万円を選択した場合に限り、4万円または7万円の増額ができます。	
入学時特別増額貸与奨学金			初回振込時に1回限り	10万円から50万円の間で10万円単位の額で選択	

※第一種奨学金(「授業料後払い制度」を含む)と第二種奨学金は同時に申し込むことができます(併用貸与)。

ただし、「第一種奨学金」と「授業料後払い制度」は同時に申し込むことはできません。

※入学時特別増額貸与奨学金は、第一種奨学金(「授業料後払い制度」を含む)または第二種奨学金と同時に申し込まなければいけません。

※有利子の奨学金であっても貸与中は利子はかかりません。



授業料後払い制度は修士課程相当の人を対象としています。

- 授業料後払い制度は、貸与奨学金として、日本学生支援機構から授業料相当額を振り込んで授業料に充てることができる制度です。
- 授業料に充てる「授業料支援金」のほかに、生活費向けの貸与「生活費奨学金」も受けることができます。
- 修士課程相当に限り利用でき、通常の第一種奨学金とは併用できません(3ページ参照)。
- 「授業料支援金」は、原則学校に直接振り込まれます。
- 授業料後払い制度(大学院修士段階)

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/atobarai/index.html>



2

申込時期

毎年、春(4月～)と秋(9月～)

申込期間等は学校によって異なるため、学校へお問い合わせください。

※被災や事故・病気等により家計が急変した場合は、年間を通じていつでも申し込むことができます(9ページ参照)。

申込方法

学校から申込みに必要な書類等を受け取り、申込サイトから申し込んでください(9ページ参照)。

奨学金の振込み

あなた名義の普通口座に、毎月振り込まれます。

- 利用できる金融機関(国内の銀行、信用金庫、労働金庫など)の詳細は「奨学金案内」を確認してください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/in.html>



3

高度の研究能力を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる人を対象とした、卒業後に返還が必要な奨学金です。
 あなた自身が「借りる」ものです。返還時の負担などを十分考慮し、学資として必要となる適切な金額を選んで申し込んでください。

1. 申込資格

日本国籍を持つ人。

※日本国籍がない場合でも利用可能な場合があります。



●申込みできる在留資格等(大学等の要件と同じです)

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/shikaku/zaigaku.html>

4

●申込資格の詳細

第一種奨学金(「授業料後払い制度」を含む)と第二種奨学金の貸与条件は同じです。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/shikaku/zaigaku.html



5

2. 第一種奨学金と授業料後払い制度の選考基準

学力基準および家計基準の両方の基準を満たしていること ※第一種奨学金と授業料後払い制度の選考基準は同じです。

① 学力基準

【修士・博士前期課程】

大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができることと認められること

【博士・博士後期課程】

大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができることと認められること

② 家計基準

あなたと配偶者(いる場合)の所得金額※により、基準に該当するかを判定します。

※2025年度春(秋)の申込みの場合は、2023年(2024年)の所得金額に基づく2024年度(2025年度)の住民税情報



●第一種奨学金の家計基準

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/kakei/zaigaku/in.html

6

●第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)と第二種奨学金併用貸与の家計基準

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/heiyo/kakei/zaigaku/in.html>



7



●進学資金シミュレーター

必要な項目を入力することで収入基準に該当するかどうかの目安を確認できます(実際の選考結果とは必ずしも一致しません)。

8

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>

	本人が給与所得者の場合 (年間の給与収入金額)		本人が給与所得者以外の場合 (年間の所得金額)	
	第一種奨学金 授業料後払い制度	併用貸与	第一種奨学金 授業料後払い制度	併用貸与
修士・博士前期課程	299	284	197	188
博士・博士後期課程	340	299	223	197

※ 上記は、配偶者がいない場合の目安です。
 ※ フードデリバリー等のアルバイト収入は事業所得になる場合があるので勤務先に確認してください。
 ※ 併用貸与とは、第一種奨学金および第二種奨学金の両方の貸与を受けることです。

(参考)第一種奨学金と授業料後払い制度のちがい

第一種奨学金

こんな方におすすめ！

- 授業料よりも、月々の生活費を手厚く支援してほしい方
- 人的保証や、定額返還方式を利用したい方

月々の振込額^{※1}

50,000円/月
または
88,000円/月

↓

年間の振込総額^{※1}

600,000円/年~
1,056,000円/年

在学中の支援内容

※1 機関保証を選択した場合、この金額から保証料相当額が差し引かれ振り込まれます。最終的に返還が必要な額は保証料相当額を加えた額になります。

卒業後の返還

※88,000円を2年間貸与した場合を想定

授業料後払い制度

こんな方におすすめ！

- 授業料を支払うためのまとまった資金を用意することが難しい方
- 大学院修了後、所得が低い間はできるだけ返還月額を低くしたい方

授業料支援金^{※2※3}

【国・公立】
最大 535,800円/年
【私立】
最大 776,000円/年

+

生活費奨学金^{※4}

20,000円/月
または
40,000円/月

↓

年間の振込総額^{※3}

【国・公立】最大 1,015,800円/年
【私立】最大 1,256,000円/年

※2 授業料支援金のうち、支援対象授業料は、実際の授業料に応じた額を学校が指定します。実際の授業料や授業料減免等により、振込額がこれより少なくなることがあります。

※3 貸与額(返還が必要な額)は、この金額に支援対象授業料にかかる保証料相当額が加算されます。

※4 この金額から保証料相当額が差し引かれ振り込まれます。最終的に返還が必要な額は保証料相当額を加えた額になります。

(注)「授業料後払い制度」は所得連動返還方式のみ

3. 第二種奨学金の選考基準

学力基準および家計基準の両方の基準を満たしていること

① 学力基準

a. または b. のいずれかに該当すること

【修士・博士前期課程】

- a. 大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると思われること
- b. 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること

【博士・博士後期課程】

- a. 大学・大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要の高度の研究能力を備えて活動することができると思われること
- b. 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること

② 家計基準

あなたと配偶者(いる場合)の所得情報※により、基準に該当するかを判定します。

※2025年度 春(秋)の申込みの場合は、2023年(2024年)の所得金額に基づく2024年度(2025年度)の住民税情報

- 進学資金シミュレーター(2ページ参照)で収入基準を満たしているか目安の確認ができます(実際の選考結果とは必ずしも一致しません)。

- 第二種奨学金の家計基準

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kakei/zaigaku/in.html



(参考)収入・所得の上限額の目安

(単位:万円)

	本人が給与所得者の場合 (年間の給与収入金額)	本人が給与所得者以外の場合 (年間の所得金額)
修士・博士前期課程	536	364
博士・博士後期課程	718	503

※ 上記は、配偶者がいない場合の目安です。

※ フードデリバリー等のアルバイト収入は事業所得になる場合があるので勤務先に確認してください。

4. 採用後に気を付けてほしいこと



① 採用後の定期的な手続きは、学校が指定する期日までに必ず行ってください。

- 採用後の手続き

10 ◀ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/taiyo/flow.html>

② 休学や復学、退学をするときは、早めに学校へ相談してください。

- 在学中の各種変更等の届出・願出

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/todokede/index.html>



③ 採用後も学業成績等の判定があります。



学業成績等の状況によっては、振込みが止まったり打ち切られたりすることがあります。

- 適格認定

12 ◀ https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/taiyo/tekikaku_nintei.html

5. 返還について

貸与が終了した月の翌月から数えて7か月後(3月貸与終了の場合は10月)から返還が始まります。

- 奨学金の返還に関する詳しい説明

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/index.html>



13

① 返還方法

返還は口座振替で行い、毎月27日(金融機関の休業日にあたる場合は翌営業日)が引落日です。貸与が終了した月の翌月から繰り上げて返還することができます。

② 返還額(割賦額)

【第一種奨学金(月賦返還・定額返還方式を適用)の例】

月額8万8千円の貸与を2年間受ける場合

返還総額	毎月の返還額	返還年数
2,112,000円	12,571円	14年



【第二種奨学金(月賦返還・利率固定方式1.340%(2024年11月時点)を適用)の例】

月額8万円の貸与を2年間受ける場合

返還総額	毎月の返還額		返還年数
	元金	利子	
2,105,703円	1,920,000円	185,703円	13年

③ 返還が難しくなったとき

病気や失業などで返還することが難しくなったときは、一定期間毎月の返還額を減額して返還したり(減額返還)、返還を先送りにしたり(返還期限猶予、在学猶予)することができます。延滞する前にこれらの制度の活用を検討してください。

あなたが死亡したときや、精神・身体の障害により働けなくなったときは、願出により返還が免除される場合があります。

④ 返還が滞ったとき

引き落としができず返還が滞ると、延滞金(年3%)がつきます。また、延滞3か月以上になると、個人情報情報機関へ個人情報登録されます。

⑤ 企業等による代理返還

奨学金の返還を支援する地方自治体や企業もあります。

- 地方公共団体の返還支援及び奨学生推薦制度

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/chihoshien/index.html>



14

- 企業等の奨学金返還支援(代理返還)制度

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kigyoshien/index.html>



15

6. 特に優れた業績による返還免除

貸与期間中に特に優れた業績を挙げた人として機構が認定した場合、貸与終了時に奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。学校を通して申請します。

● 特に優れた業績による返還免除制度

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html>



16

【対象】

大学院において第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)の貸与期間中に特に優れた業績を挙げた人

※第一種奨学金の貸与終了する年度に、学校を通じて申請が必要です。

教員になった人を対象に①～③すべてを満たす場合、全額免除となります。

- ① 貸与期間中に在学している課程で優れた業績を挙げた者として機構が認定した者
- ② 教職大学院または一定の条件を満たす教職大学院以外の大学院に原則在籍中に教員採用選考試験に合格した者
- ③ 大学院修了の翌年度に免除対象となる学校種の教員になるなど、その他必要な要件を全て満たした者



他の経済的支援を受け取っていると免除の対象にならない場合があるので、機構ホームページをご確認ください。

● 【博士・博士後期課程】特に優れた業績による返還免除の対象外となる者

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/seidogaiyo/choufukukinshi.html>



17

【博士・博士後期課程】返還免除内定制度



第一種奨学金に採用された博士・博士後期課程1年次を対象として、貸与終了時の返還免除を内定する制度です。

● 【博士・博士後期課程】返還免除内定制度の詳細

18

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/naitei.html>

7. 申し込むまでにやっておくこと

① 奨学金の種類を決める(1ページ参照)

第一種奨学金または授業料後払い制度と第二種奨学金は同時に申し込むことができます。

※入学時特別増額貸与奨学金は、第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)または第二種奨学金と同時に申し込まなければいけません。

② 奨学金を受け取る口座を準備する

あなた名義の口座を準備してください。

③ マイナンバーを準備する

あなたと配偶者(いる場合)のマイナンバーとあなたの身元確認書類(マイナンバーカードなど)を準備してください。

④ 保証制度

「機関保証」または「人的保証」のいずれかを選択します。

※貸与奨学金における保証制度の要件は同じです。

● 保証制度

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/hosho/sentaku.html



19

保証機関(公益財団法人日本国際教育支援協会)に一定の保証料を支払い、連帯保証を受ける制度です。
 毎月の奨学金から保証料を差し引いて振り込みます。
 保証料の月額は貸与月額、貸与期間及び返還期間等によって決まるため、奨学生採用時にお知らせします。
 なお、第一種奨学金と第二種奨学金の保証料は異なります。

● 第一種奨学金の保証料

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/hosho/kikan_hosho/hoshoryo.html ▶



20

● 第二種奨学金の保証料

◀ https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/hosho/kikan_hosho/hoshoryo.html

21

【差し引かれる保証料の例(2024年度採用者の場合)】

- 授業料支援金で学校が支援対象授業料として年535,800円を貸与期間2年間で指定した場合、36,042円の保証料が貸与総額(1,107,642円)から差し引かれます。
- 第二種奨学金で月額8万円の貸与を2年間受ける場合、毎月3,121円の保証料が貸与額(8万円)から差し引かれます。



あなたが返還を一定期間延滞したときは、保証機関があなたに代わり機構へ返済しますが、その後、あなたは保証機関へ返済する必要があります。

要件に合う人に連帯保証人(父や母)および保証人(おじやおば等)になってもらい、保証を受ける制度です。

● 人的保証制度(連帯保証人や保証人の要件を含む)

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/hosho/jinteki_hosho.html



22



あなたが返還を一定期間延滞したときは、機構から連帯保証人および保証人にも、延滞のお知らせや返還の請求・督促等が行われます。

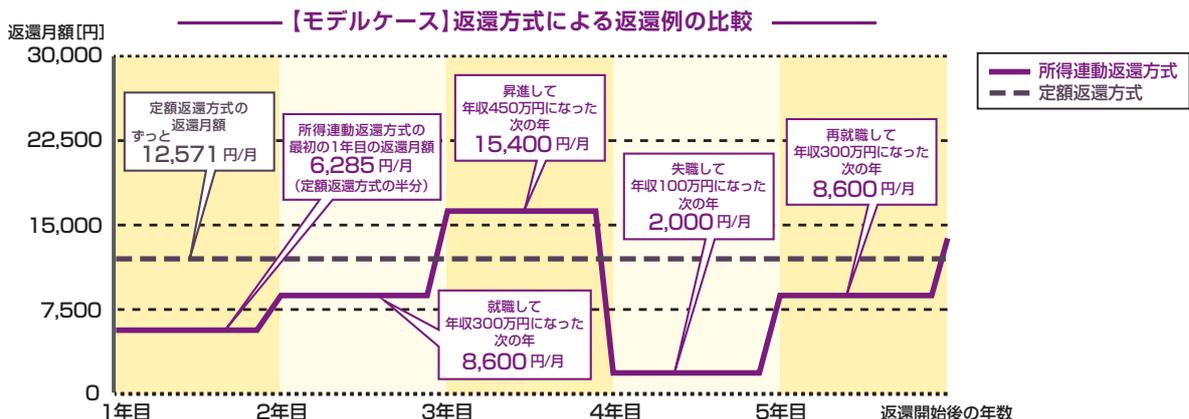
⑤ 返還方式

第一種奨学金を利用する人は、「所得連動返還方式」と「定額返還方式」のいずれかを選択します。
 ただし、修士課程相当を対象とした「授業料後払い制度」を利用した場合は「所得連動返還方式」となります。
 第二種奨学金を利用する人は「定額返還方式」のみです。

所得連動返還方式	定額返還方式
毎月の返還額が前年の所得等に応じて決定される方式 ※保証制度は「機関保証」、割賦方法は「月賦返還」となります。 【年収に応じた返還額の目安例】 年収300万円 ⇒ 約8,600円/月で返還 年収450万円 ⇒ 約15,400円/月で返還 ※返還者本人に子どもがいる場合、1人につき月額から約2,400円を控除 ● 所得連動返還方式の詳細 https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/henkan_hoshiki/shotokurendo/index.html	毎月の返還額が貸与総額(借用金額)に応じて決定される方式 【貸与総額に応じた返還額の例】 第一種奨学金で月額8万8千円の貸与を2年間受けた場合(総額211万2千円)、約12,571円(14年間)を毎月返還

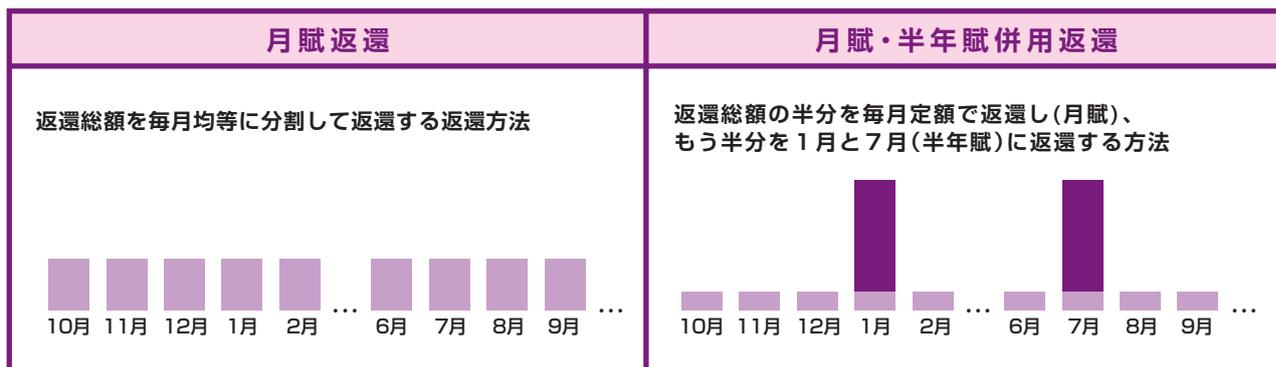


23



⑥ 割賦方法

第一種奨学金で「所得連動返還方式」を選択した人と授業料後払い制度を利用する人は「月賦返還」のみです。
その他の人は「月賦返還」または「月賦・半年賦併用返還」のいずれかを選択します(返還誓約書提出時に選択(9ページ参照))。



⑦ 利率の算定方法(第二種奨学金および入学時特別増額貸与奨学金)

第二種奨学金や入学時特別増額貸与奨学金を利用する人は、「利率固定方式」と「利率見直し方式」のいずれかを選択します。

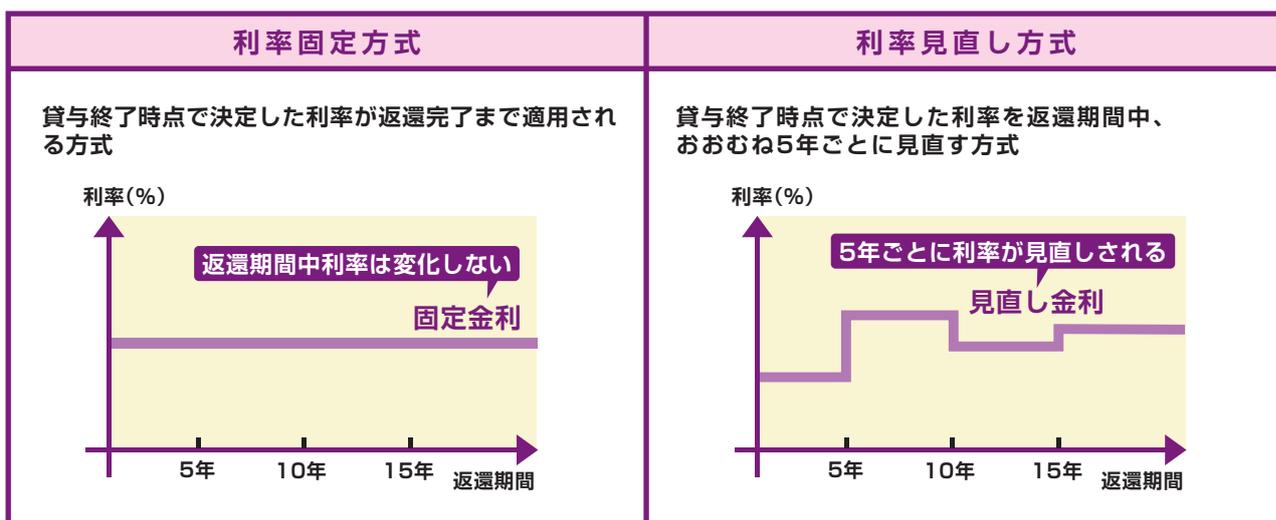
※入学時特別増額貸与奨学金は、申込時に選択した算定方法から変更することはできません。

●実際に適用されている利率

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/riritsu/2007ikou.html



24



●本冊子より詳しい内容を知りたいときは機構ホームページから「奨学金案内」をご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/in.html>



25



申込みから奨学金が最初に振り込まれるまでは、
2～3か月程度かかります。

STEP 1

学校から申込みに必要な書類等を受け取る

- ① 奨学金案内ダイジェスト(本冊子)
- ② スカラネット入力下書き用紙
→申込サイトに入力する内容を事前に整理しメモするための用紙 **STEP 2**
- ③ 奨学金確認書兼地方税同意書のセット →機構の定める規程などを確認し、誓約する書類 **STEP 3**
- ④ 識別番号(ユーザID・パスワード)→申込サイトにログインするために必要 **STEP 2**

※受け取っていない書類等がある場合は、学校へお問い合わせください。

申込みに必要な
「申込IDと初期パスワード」は
この書類に記載があるよ

申込みには二種類の
パスワードが必要だから
気を付けよう



STEP 2

申込サイトから申込情報を送信後、あなたと配偶者のマイナンバーを送信



- 申込サイト(スカラネット)
◀ <https://www.sas.jasso.go.jp/>



- 申込みにおけるマイナンバーの使用の詳細

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/mynumber/index.html>



27

STEP 3

「奨学金確認書兼地方税同意書」を記入し、提出用封筒で機構へ郵送



- 申込IDとパスワード※は控えておく。 ※申込サイトで、あなた変更したパスワード
- 配偶者欄は、申込サイトで入力した配偶者と同じ人が記入する。
- マイナンバー送信後、一週間以内に郵送する。

以下に該当する人は、学校に書類提出が必要な場合があります。

- 海外居住などでマイナンバーを機構へ提出できない人
- あなたが外国籍の場合 家計が急変した人

- 必要な書類は「奨学金案内」をご確認ください

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/in.html>



28



STEP 4

選考と採用

- あなたが登録した口座に奨学金が振り込まれたことを確認する。
- 採用決定に関する書類(奨学生証など)を受け取る。
- 返還誓約書(借用証書)を記入し、学校へ期日までに提出する。



- 返還誓約書を期日までに提出しない場合は採用が遡って取り消しとなる場合があります。



被災や事故・病気等により家計が急変した場合は、年間を通じていつでも申し込むことができます。
申込手続きなどを機構ホームページで確認して、学校へお問い合わせください。

- 家計が急変したときの申込手続き

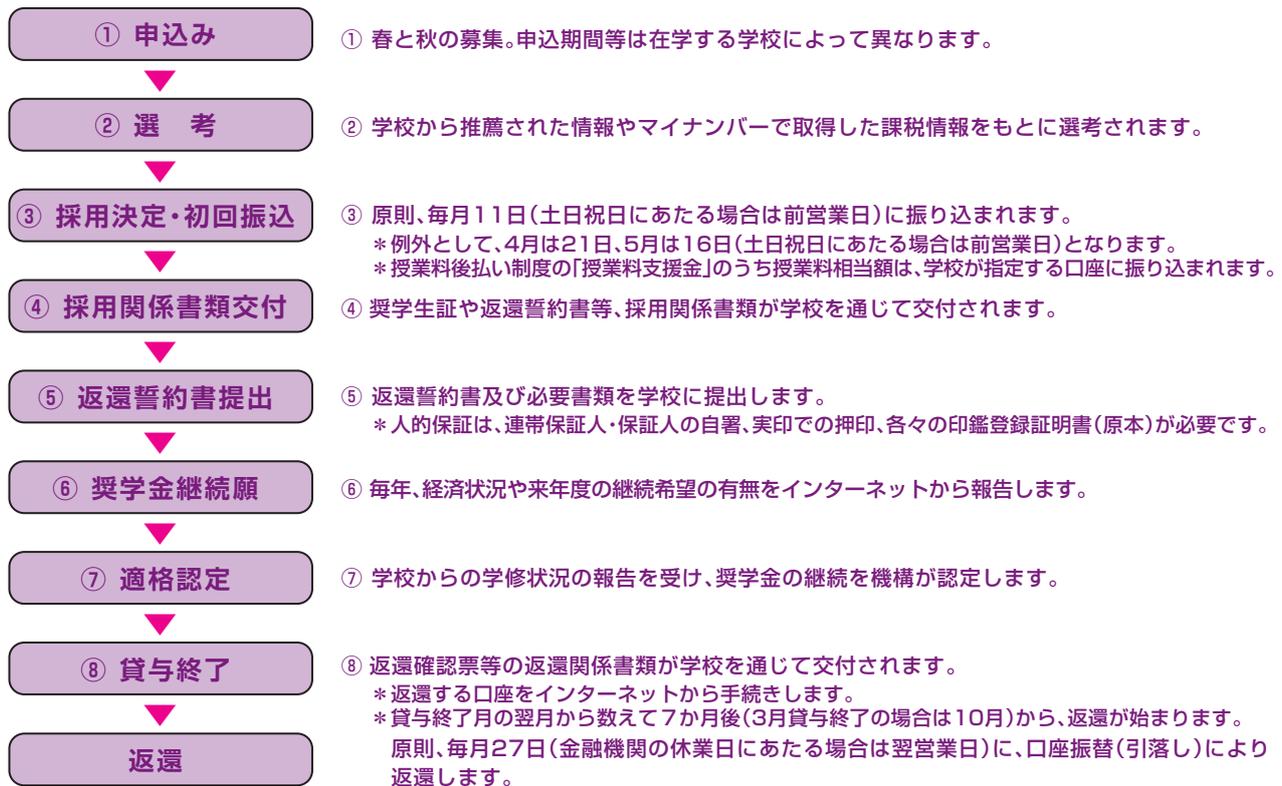
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/rinji/index.html>



29

採用後に必要な書類の提出や報告等を期限までに行わない場合、奨学金の支給が止まったり、打ち切られることがあります。学校からの連絡は見落としのないようにし、各手続きを行ってください。

申込から採用～貸与終了までの流れ



申し込むときの便利コンテンツ

1. 奨学金の申込手続きに関するよくある質問はまとめて掲載しています。
<https://www.jasso.go.jp/faq/shogakukin/moshikomi/zaigaku/index.html> ▶  30
2. 進学資金シミュレーター
必要事項を入力することで、家計基準以下であるか試算できます。
シミュレーション結果と実際の選考結果は必ずしも一致しません。
◀ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>  31
3. 奨学金貸与・返還シミュレーション
将来の返還額や返還回数の試算ができます。
経済状況や人生・生活設計に基づき、将来、返還する義務があることを考慮して、申請及び貸与月額を選択等を行ってください。
<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation> ▶  32
4. 奨学金相談サイト
奨学金のよくある疑問や質問をチャットボット等で解決できるQ&Aサイトです。
◀ <https://www.shogakukinsupport.jp/>  33
5. 「スカラネット」や「スカラネット・パーソナル」のログイン方法などの動画を掲載しています。
<https://www.youtube.com/@jassofaq> ▶  34

▼以下の情報も参考にしてください。

- 大学・地方公共団体等が行う奨学金制度
学校が実施している奨学金、授業料等の減免・徴収猶予制度や地方公共団体等が実施している奨学金制度などを掲載しています。
◀ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/dantaiseido/index.html>  35
- 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」(日本政策金融公庫のホームページ)
保護者に対して、入学金、学校納付金などの入学費用や、授業料、通学費などの在学費用を融資する制度です。
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html> ▶  36

2025年度 スカラネット入力下書き用紙 【大学院・法科大学院用】

貸与奨学金を申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。

「奨学金案内」も確認しながら、記入を行いましょう。

奨学金案内掲載箇所：

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/in.html>

緊急採用・応急採用に申し込む場合、授業料後払い制度の設問は表示されません。



スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付期間 8:00 ~ 25:00 (最終締切日の受付時間は 8:00 ~ 24:00)

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。スカラネット入力所要時間の目安は30分から1時間です。

スカラネット 入力期限	月 日 時まで	インターネットによるマイナンバー提出等の手続き	月 日 時まで
----------------	---------	-------------------------	---------

↓学校から指示がある場合のみ入力してください。

氏名											学籍番号			研究科の専攻科コード							
受付番号														0							

↑スカラネット入力完了し「送信」ボタンを押した後に、
受付番号が画面に表示されます。

↑定期採用で申し込みした場合は「2」、
緊急採用・応急採用で申し込みした場合は「3」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・奨学金確認書兼地方税同意書
- ・（返還免除内定制度に申し込んでいる場合）申込完了画面のコピー等受付番号がわかるもの
- ・奨学金振込口座（本人名義）の情報がわかるもの

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号の入力

あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID															パスワード													
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↑スカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。
 エラーになる場合は、入力した文字を目で見確認できるよう、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

申込選択

1. 申込み奨学金 (1) または (2) を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用 (1次又は2次)

○現在在学している大学院での奨学金を申込みことができます。

(2) 緊急採用・応急採用

○失職、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込みことができます。
奨学金案内で申込資格を確認してください。

希望する奨学金を選んでいることを確認してください。誤ると申込みをやり直す必要が生じます。

ログイン

申込ID	Z	M	2	5											パスワード													
------	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「奨学金確認書兼地方税同意書」の「申込ID」の欄に印刷されている「ZM25」で始まる10桁の英数字を入力してください。
 ←「初期パスワード」の欄に印刷されている6桁の英数字を入力してください。

注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

○メールアドレスの登録

登録するメールアドレスを入力してください。ページ最下部の「送信」ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛に認証コードが送信されます。

登録するメールアドレス

【登録するメールアドレスについて】

- ・申込IDやパスワードを忘れた場合の、申込IDの通知やパスワード初期化の認証、生計維持者等を変更若しくは追加し、又は誤った個人番号の提出が判明した場合に個人番号の再提出が必要となること及び前記の場合に再提出がないことを通知する目的でのみ使用されます。書類不備や選考結果の通知には使用されません。
- ・迷惑メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。(jasso@ses.jasso.go.jp)からのメールを受信できるように設定を変更してから、「送信」ボタンを押してください。

・「メールアドレス登録」
・「新しいパスワードの設定」
・「メールアドレス認証」は、「奨学金案内」に掲載の画面の指示に従って進めてください。

○新しいパスワードの設定

初回のみ「奨学金確認書兼地方税同意書」に印字されているパスワードの変更が必要です。新しいパスワードを設定してください。

【パスワードの管理について】

- ◆第三者に推測されやすい数字や英字（生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等）を使用しないでください。
- ◆第三者にパスワードを教えないでください。
- ◆第三者の目につく場所にパスワードを記入したメモを残さないでください。

◆【パスワード作成の条件】

- 半角の英字、数字を含む組み合わせであること。
- 8～16文字以内であること。
- 申込IDと異なる文字列であること。

○メールアドレス認証

入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。メールに記載の認証コードを入力してください。

アカウント情報登録完了と表示されたら、「次へ」を押すとメインメニューが表示されます。「奨学金申込」をクリックします。

STEP1 申請にあたっての同意事項の確認

■申請にあたっての同意事項の確認

あなたは、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）の貸与奨学金をインターネットから申し込むにあたり、奨学金案内に記載の内容並びに以下に表示される機構の諸規程、保証委託約款、個人情報情報の取扱いに関する同意条項及びその他同意事項を確認したうえで、あなたと配偶者の状況等を相違なく機構に登録することに同意しますか。

(規定等に表示される内容)

- ・独立行政法人日本学生支援機構法
- ・独立行政法人日本学生支援機構法施行令
- ・独立行政法人日本学生支援機構に関する省令
- ・業務方法書
- ・保証委託約款
- ・個人情報情報の取扱いに関する同意条項
- ・その他同意事項（給付奨学金の返還等に係る事項、貸与申込条件等）

「規定等を表示」 ↓ <input type="checkbox"/> 同意します

STEP2 ①あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、「奨学金確認書兼地方税同意書」を貴機構に提出するとともに奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく入力することを誓約します。

・誓約日 2025年 年 日

スカラネットを入力する日（この日を基準とし、成年判定を行います。）
※緊急採用・応急採用に申し込む人は、スカラネットの入力が完了した日

	姓 名
・漢字氏名 (全角5文字以内)	
・カナ氏名 (全角15文字以内)	

「奨学金案内」を参照。
振込口座の名義人氏名と同一である必要があります。
通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

・生年月日 西暦 年 月 日

誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

・国籍 日本国籍 日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。
外国籍の人は「奨学金案内」のとおり在留資格に制限があります。
必ず在留資格を確認してください。

※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。

在留資格
永住者・特別永住者 日本人の配偶者等 永住者の配偶者等
定住者 家族滞在

在留期間（満了日） 西暦 年 月 日

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者及び家族滞在の人は、
在留期間（満了日）を入力してください。

スカラネット画面表示	入力内容記入欄
在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
在留資格が「家族滞在」の場合、大学院を修了後も日本国で就労し、定着する意思はありますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
在留資格が「家族滞在」の場合、日本国へ初めて入国した日について入力してください。	西暦 年 月 日
日本国の小学校を卒業しましたか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
卒業した小学校名	
卒業した小学校の所在地（都道府県）	
日本国の中学校を卒業しましたか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
卒業した中学校名	
卒業した中学校の所在地（都道府県）	
日本国の高等学校を卒業しましたか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
卒業した高等学校名	
卒業した高等学校の所在地（都道府県）	

STEP3 ②奨学金申込情報

1. あなたの希望する奨学金を1つ選択してください。

(a) **第一種奨学金もしくは授業料後払い制度、又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ**入力してください。

- (1) 第一種奨学金もしくは授業料後払い制度のみ希望します。
- (2) 第一種奨学金もしくは授業料後払い制度を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
- (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b) **併用貸与を希望する人のみ**入力してください。

- (4) 第一種奨学金もしくは授業料後払い制度及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
- (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金もしくは授業料後払い制度のみ希望します。
- (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金もしくは授業料後払い制度不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c) **現在奨学金の貸与を受けている人のみ**入力してください。

- (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金もしくは授業料後払い制度への変更を希望します。
 - (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
 - (10) 第一種奨学金もしくは授業料後払い制度の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 - (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 - (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
 - (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
併用貸与不採用の場合、第一種奨学金もしくは授業料後払い制度への変更を希望します。
- ※ (12) は欠番です。
※ 授業料後払い制度は、修士課程相当（法科大学院及び一貫制博士課程前期課程を含みます。）でのみ利用でき、その他の第一種奨学金と併用できません。

あとで変更することはできません。「奨学金案内」をよく確認し、希望する1つを選択してください。

緊急採用・応急採用に申し込む人は(1)(3)(4)(10)(11)の中から希望するものを1つ選択してください。

授業料後払い制度に申込みできるのは2024年秋入学以降の者です。
また、秋入学者は秋（二次採用）、春入学者は春（一次採用）にのみ申し込むことができます。

上記 (1)、(2)、(4)、(5)、(6)、(7)、(8)、(11)、(14) を選択した人は希望する奨学金の種類を選択してください。

第一種奨学金 授業料後払い制度

※ 第一種奨学金と授業料後払い制度を併用で申し込むことはできません。

上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

【(8)～(14)を選択する人へ】

既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中の人、予約採用者で、(8)～(14)を希望する場合以下のとおり選択、入力してください。

○第二種→第一種の変更又は第一種→第二種の変更を希望

採用後に現在貸与中の奨学金の一部を返戻する必要がある場合があります。

- ・変更前の奨学生番号が決定している場合は (8) 又は (9) を選択し、奨学生番号欄に決定している奨学生番号を入力する。
- ・変更前の奨学生番号が未決定の場合は (1) 又は (3) を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当者へ申し出る。

○第一種又は第二種→併用貸与の変更を希望（併用貸与の学力、家計基準を満たすことが必要です。）

- ・(10) 又は (11) を選択し、変更前の奨学生番号が決定している場合は奨学生番号欄に決定している奨学生番号を入力する。
変更前の奨学生番号が未決定の場合は、奨学生番号を入力せず次に進む。

○希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与中の奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望

採用後に現在貸与中の奨学金の一部を返戻する必要がある場合があります。

- ・変更前の奨学生番号が決定している場合 → (13) 又は (14) を選択し、奨学生番号欄に決定した奨学生番号を入力する。
- ・変更前の奨学生番号が未決定の場合 → (1) 又は (3) を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当者へ申し出る。

スカラネット画面表示		入力内容記入欄
STEP3 ③あなたの在学情報		
1. 大学院		
(1) あなたの学校名を確認してください。		自動表示
(2) あなたの学籍（学生証）番号を記入してください。 学籍番号は半角英数字と半角ハイフンのみ入力可能		
(3) あなたの在学している課程を選択してください。 法科大学院の人は、「あなたは法科大学院の課程に在学していますね。」と表示されます。		<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
(4) あなたの在学している研究科を選択してください。		
(5) あなたの在学している研究科の専攻のコードを記入してください。 (注) 専攻コードについては学校へ確認の後入力してください。 学校からの指示がない場合は未入力でかまいません。		
(6) 年次を入力してください。 卒業年月に合わせた実質年次を入力してください。 (例) ○一貫制博士課程の3年次→3年次 ○2年次休学のため3年次へ進学できなかった場合→2年次 実質年次がわからない場合は学校に確認してください。 長期履修課程に在学する人は、学校の指示に従い入力してください。		年次
(7) 昼夜課程を選択してください。		<input type="radio"/> 昼（昼夜開講含む） <input type="radio"/> 夜 <input type="radio"/> 通信
(8) あなたの入学年月を入力してください。 (注) 入学年月（特に編入学者）は必ず学校へ確認の後入力してください。 現在在学している学校に編入学又は転学した場合は、編入学又は転学する前に在学していた学校の1年次に入学したときの実際の年月を入力してください。		西暦 年 月
(9) あなたの修了（見込）予定年月を入力してください。 通常は正規の修了予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2027年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の修了予定年月ではなく、今現在の修了予定年月を入力してください。 なお、年度途中修了など特別な事情により、修了月が3月以外になる研究科に在籍する場合は学校に確認してください。		西暦 年 月
(10) あなたの修業年限を入力してください。 「修業年限」とは、あなたの課程が何年課程のものかという意味です。		年 か月
希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
第一種	STEP3 ④奨学金貸与額情報 第一種奨学金を希望する場合 1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 一次採用（春）で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2025年4月（二次採用（秋）は2025年10月）となります。 (2) 希望する返還方式を選択してください。 (注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。 返還方式については「奨学金案内」を参照。	修士課程 <input type="radio"/> 5万円 <input type="radio"/> 8万8千円 博士課程 <input type="radio"/> 8万円 <input type="radio"/> 12万2千円 <input type="radio"/> 所得連動返還方式 <input type="radio"/> 定額返還方式
	授業料後払い制度を希望する場合 1. 授業料後払い制度を希望する人は次のことに答えてください。 (1) あなたの希望する生活費奨学金の月額を選択してください。 (注) 授業料後払い制度のうち、授業料支援金の金額は学校が設定します。 (2) 希望する返還方式を選択してください。 (注) 返還方式は「所得連動返還方式」のみになります。 返還方式については「奨学金案内」を参照。	<input type="radio"/> 0万円 <input type="radio"/> 2万円 <input type="radio"/> 4万円 <input checked="" type="radio"/> 所得連動返還方式
第一種・後払い	(3) 第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の再貸与を希望しますか。 過去に大学院の同じ課程の区分で第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）を受けたことがある人は「はい」を選択してください。 ただし、採用取消や返還完了となった奨学生番号のみの場合は再貸与に該当しないため、「いいえ」を選択してください。 大学院の課程区分、再貸与制度については「奨学金案内」を参照。 「はい」と答えた人はこれまでに今回申込み同一学種・同一課程で貸与を受けた第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の奨学生番号を記入してください。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
		奨学生番号 <input type="text" value="0"/>

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
第一種・後払い	<p>第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込みを行ってください。</p> <p>〔注〕 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。</p> <p>(4) あなたは「大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定制度」に申込みましたか。</p> <p>「はい」と答えた人は、内定制度申込完了時の「受付番号」を入力してください。</p>	<p>再貸与制度を表示 ↓ <input type="checkbox"/>同意します</p> <p>〇はい 〇いいえ</p> <p>—06GMN24—</p>
第一種	<p>2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。</p> <p>(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。</p> <p>〇5万円 〇8万円 〇10万円 〇13万円 〇15万円</p> <p>法科大学院の人で、15万円の月額を選択した人のみ増額貸与を希望することができます。</p> <p>あなたは増額貸与を希望しますか。</p> <p>〇4万円 〇7万円 〇希望しない</p> <p>※貸与月額について確認してください。</p> <p>併用貸与を希望した人と第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。</p> <p>あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。</p> <p>なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。</p> <p>ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。</p> <p>〇はい 〇いいえ</p> <p>(2) あなたは何月分から貸与を希望しますか。</p> <p>〔注〕 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。</p> <p>西暦 年 月</p> <p>一次採用（春）に申込みする人は、2025年4月～9月のいずれかの月を選択してください（二次採用（秋）に申込みする人は、2025年10月～2026年3月のいずれかの月を選択してください）。</p> <p>3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2025年4月を選択してください。</p> <p>応急採用を申し込む人は、「奨学金案内」で申請できる貸与始期を確認してください。</p> <p>3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。</p> <p>入学時特別増額貸与奨学金は入学した課程において、1回しか受けることができません。そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。</p> <p>編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。</p> <p>(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。</p> <p>1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。</p> <p>〇はい 〇いいえ</p> <p>「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。</p> <p>〇10万円 〇20万円 〇30万円 〇40万円 〇50万円</p> <p>4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。</p> <p>(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。</p> <p>〇利率固定方式 〇利率見直し方式</p> <p>返還時の利率の算定方法については「奨学金案内」を参照。</p>	
全員	<p>STEP4 ⑤あなたの履歴情報</p> <p>1. あなたの最終学歴を記入してください。</p> <p>西暦 年 月</p> <p>直近を選択→ 〇中学校 〇高等学校 〇高等専門学校 〇短期大学 〇大学 〇大学院 〇専修学校（高等課程） 〇専修学校（専門課程） 卒業又は退学</p> <p>2. あなたはこれまでに、「②奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構あるいは日本育英会の奨学金の貸与・給付を受けたことはありますか。</p> <p>※「②・奨学金申込情報」で入力した貸与奨学生番号： 自動表示</p> <p>〇はい 〇いいえ</p> <p>「はい」と答えた人はその時の奨学生番号を記入してください。</p> <p>※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。</p> <p>奨学生番号1</p> <p>奨学生番号2</p> <p>奨学生番号3</p> <p>※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。</p> <p>採用取消した奨学生番号の入力は不要です↑</p>	
第一種	<p>※第二種奨学金の貸与について確認してください。</p> <p>あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。</p> <p>同一の学校区分（大学院の課程）で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。</p>	<p><input type="checkbox"/>確認しました。</p>

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
全員	STEP5 ⑥保証制度 保証制度については「奨学金案内」を参照。 1. あなたが希望する保証制度を選択してください。 ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です (一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。 ※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。	<input type="radio"/> 機関保証 <input type="radio"/> 人的保証 <input type="checkbox"/> 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。 <input type="checkbox"/> 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。
第一種・後払い	併願又は併用で申し込み(次の選択肢を選択した場合)、かつ第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合、次の設問を表示します。 (2) 第1希望：第一種(後払い) 第2希望：第二種 (4) 第1希望：第一種(後払い)と第二種(併用) (5) 第1希望：第一種(後払い)と第二種(併用) 第2希望：第一種(後払い) (6) 第1希望：第一種(後払い)と第二種(併用) 第2希望：第一種(後払い) 第3希望：第二種 (7) 第1希望：第一種(後払い)と第二種(併用) 第2希望：第二種	
第一種	第一種奨学金を希望した場合 1. あなたが希望する保証制度を選択してください。 所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。 ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です (一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。	<input checked="" type="radio"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。
後払い	授業料後払い制度を希望する場合 1. あなたが希望する保証制度を選択してください。 授業料後払い制度の保証制度は「機関保証」のみになります。 ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です。 ・授業料支援金は、授業料相当額に保証料相当額を加えた額が貸与額となります。 そこから保証料を差し引いた額があなた又は学校の口座に振り込まれます。 ・生活費奨学金は、一定の保証料を差し引いた額が毎月あなたの口座に振り込まれます。	<input checked="" type="radio"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。
第二種	2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。 ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です (一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。 ※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。	<input type="radio"/> 機関保証 <input type="radio"/> 人的保証 <input type="checkbox"/> 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。 <input type="checkbox"/> 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。
全員	STEP6 ⑦貸与奨学金返還誓約書情報 1. あなた自身について入力してください。 (1) あなたのお名前は 自動表示 さんですね。 (2) あなたの性別を選択してください。 (3) あなたの生年月日は 自動表示 ですね。 (4) あなたの現住所を入力してください。 ※申込者本人の個人番号(マイナンバー)を申込後に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。 郵便番号 <input type="text"/> ↓番地まで入力されます 住所1(自動入力) <input type="text"/> 住所2(番地以降) <input type="text"/> (5) あなたの電話番号を入力してください。 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女 <input type="radio"/> 回答たくない (重要)住所入力☒ページ参照 自宅 <input type="text"/> 携帯 <input type="text"/>

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
全員	<p>(重要) 住所の入力について</p> <p>郵便番号 <input type="text" value="162-0845"/> 住所検索</p> <p>住所1 (自動入力) <input type="radio"/>東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目 <input type="radio"/>東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目 <input type="radio"/>東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目</p> <p>住所2 (番地以降) <input type="text" value="10-7 育英ハイツA-101"/></p> <p>※番地以降の住所が無い場合は、「住所2」に「. (ピリオド)」を入力してください。 ※海外の住所・電話番号は入力できません。国内の連絡が取れる住所・電話番号を入力してください。</p>	<p>←①郵便番号を入力して「住所検索」をクリックします。 ←②住所1に表示された中から正しい住所を選択してください。 (注意) ○丁目まで自動入力されます。 ←③住所1の○丁目を重複入力しないように全角で入力してください。</p>
機関保証	<p>2. 本人以外の連絡先について</p> <p>あなたは「保証制度」画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。</p> <p>機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。</p> <p>(注意) 「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。 ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うことになります。</p>	<p>姓 名</p> <p>漢字氏名 (全角5文字以内) <input type="text"/></p> <p>カナ氏名 (全角15文字以内) <input type="text"/></p> <p>(2) その生年月日 <input type="text" value="西暦"/>年 <input type="text"/>月 <input type="text"/>日生</p> <p>(3) あなたとの続柄 <input type="text"/></p> <p>あなたからみた続柄です。(例) 父、母↑</p> <p>(4) その住所 郵便番号 <input type="text"/> ↓番地まで入力されます</p> <p>(重要) 住所入力本ページ上部参照 住所1 (自動入力) <input type="text"/></p> <p>住所2 (番地以降) <input type="text"/></p> <p>(5) その電話番号 自宅 <input type="text"/></p> <p>※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 携帯 <input type="text"/></p>
人的保証	<p>3. 連帯保証人と保証人について</p> <p>あなたは「保証制度」画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。</p> <p>連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金案内」を確認してください。</p> <p>(1) 連帯保証人について入力してください。</p> <p>・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。</p>	<p>姓 名</p> <p>(a) その氏名 漢字氏名 (全角5文字以内) <input type="text"/></p> <p>カナ氏名 (全角15文字以内) <input type="text"/></p> <p>(b) その生年月日 <input type="text" value="西暦"/>年 <input type="text"/>月 <input type="text"/>日生</p> <p>(c) あなたとの続柄 <input type="text"/></p> <p>あなたからみた続柄です。(例) 父、母↑</p> <p>(d) その住所</p> <p>・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。</p> <p>(重要) 住所入力本ページ上部参照 郵便番号 <input type="text"/> ↓番地まで入力されます</p> <p>住所1 (自動入力) <input type="text"/></p> <p>住所2 (番地以降) <input type="text"/></p> <p>(e) その電話番号 自宅 <input type="text"/></p> <p>※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 携帯 <input type="text"/></p> <p>(f) その勤務先 <input type="text"/></p> <p>勤務先名を記入してください↑ 自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。 無職の場合は入力不要です</p> <p>勤務先電話番号 <input type="text"/></p> <p>※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。 <input type="checkbox"/>無職</p>

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄																															
人的保証	<p>(2) 保証人について入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。 <p>(a) その氏名</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">姓</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">名</td> </tr> <tr> <td>漢字氏名 (全角5文字以内)</td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> </tr> <tr> <td>カナ氏名 (全角15文字以内)</td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> </tr> </table> <p>(b) その生年月日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">西暦</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">年</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">月</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">日</td> </tr> <tr> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> </tr> </table> <p>(c) あなたとの続柄</p> <p style="text-align: right;">あなたからみた続柄です。(例) おじ、おば*↑</p> <p>*以下の場合は「その他（知人等）」と記入（選択）してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離婚した父母・本人が養子縁組している場合の実父母・配偶者の父母（義父母） ・「父（母）」や「その他（4親等以内）」を選択しないでください。 <p>(d) その住所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 <p>(重要) 住所入力ページ参照</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">郵便番号</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">↓番地まで入力されます</td> </tr> <tr> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>住所1（自動入力）</td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> </tr> <tr> <td>住所2（番地以降）</td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> </tr> </table> <p>(e) その電話番号</p> <ul style="list-style-type: none"> ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">自宅</td> <td style="width: 40%;"><input style="width: 100%;" type="text"/></td> </tr> <tr> <td>携帯</td> <td><input style="width: 100%;" type="text"/></td> </tr> </table> <p>(f) その勤務先</p> <p style="text-align: right;">勤務先名を記入してください↑</p> <p>自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。</p> <p style="text-align: right;">無職の場合は入力不要です</p> <p>勤務先電話番号</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"><input style="width: 100%;" type="text"/></td> <td style="width: 40%; text-align: right;"><input type="checkbox"/>無職</td> </tr> </table> <p>(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。 年齢による判定では、各人物の誓約日（①あなたの氏名・誓約情報で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。 <p style="text-align: right;">○はい ○いいえ</p>		姓	名	漢字氏名 (全角5文字以内)	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	カナ氏名 (全角15文字以内)	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	西暦	年	月	日	<input style="width: 100%;" type="text"/>	郵便番号	↓番地まで入力されます	<input style="width: 100%;" type="text"/>		住所1（自動入力）	<input style="width: 100%;" type="text"/>	住所2（番地以降）	<input style="width: 100%;" type="text"/>	自宅	<input style="width: 100%;" type="text"/>	携帯	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> 無職				
	姓	名																															
漢字氏名 (全角5文字以内)	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>																															
カナ氏名 (全角15文字以内)	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>																															
西暦	年	月	日																														
<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>																														
郵便番号	↓番地まで入力されます																																
<input style="width: 100%;" type="text"/>																																	
住所1（自動入力）	<input style="width: 100%;" type="text"/>																																
住所2（番地以降）	<input style="width: 100%;" type="text"/>																																
自宅	<input style="width: 100%;" type="text"/>																																
携帯	<input style="width: 100%;" type="text"/>																																
<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> 無職																																
全員	<p>STEP7 ⑧あなたの所得情報</p> <p>1. あなたと配偶者について入力してください。</p> <p>(1) 配偶者の有無について入力してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: right;">○有 ○無</td> </tr> </table> <p>(2) あなたについて入力してください。</p> <p>(a) あなたは2023年1月2日以降に転職しましたか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: right;">○はい ○いいえ</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。 <p>「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報（2023年1月～2023年12月の収入情報）にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。</p> <p>次から選択してください。</p> <p><input type="radio"/>第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※再審査を希望する場合には、追加であなたの給与明細等の提出が必要になります。 また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。</p> <p><input type="radio"/>直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。</p> <p>(b) あなたは2024年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: right;">○はい ○いいえ</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 二次採用（秋）で申し込む場合は、2024年を2025年に読み替えてください。 緊急採用・応急採用に申し込む人でスカラネット入力完了日（申請日）が2025年10月以降になる人は、2024年を2025年に読み替えてください。 <p>(c) あなたは、2024年度（2023年1月～12月分）の住民税情報にて給与所得があり、住民税が課税されており、かつ2025年度に大学院へ入学する日の前1年以内に離職又は無給の休職をしましたか。（はい、を選択した場合、離職票、休職証明書等の学校への提出が必要です。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: right;">○はい ○いいえ</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 二次採用（秋）で申し込む場合は、2024年度を2025年度に、2023年を2024年に読み替えてください。 緊急採用・応急採用に申し込む人でスカラネット入力完了日（申請日）が2025年10月以降になる人は、2024年度を2025年度に、2023年を2024年に読み替えてください。 		○有 ○無		○はい ○いいえ		○はい ○いいえ		○はい ○いいえ																								
	○有 ○無																																
	○はい ○いいえ																																
	○はい ○いいえ																																
	○はい ○いいえ																																

以下の設問は、申込画面においては「〇-家庭事情情報」の設問（11ページ）の後に表示されます。**緊急採用・応急採用の申込者のみ入力してください。**
(定期採用と緊急採用・応急採用では、設問数が異なるため、設問番号を「〇-」としています。実際の画面では設問番号が表示されます。)

緊急採用・
応急採用

〇-緊急・応急採用情報

1. 家計が急変した者の人数を入力してください。

人 ※急変者が申込者本人又は配偶者のいずれかの場合は1人、両方の場合は2人を選択してください。

【注意事項】 家計が急変した事由が以下の場合、「〇-あなたの所得情報」画面で配偶者を入力しないようにしてください。

- 「1) 死亡」のうち「配偶者が死亡」
- 「5) 配偶者等による暴力等から避難」のうち「配偶者による暴力等から避難」
- 「6) 離別（離婚・行方不明等）」のうち「配偶者との離別」

以下の「入力済みの配偶者を確認する」により、あなたが入力した内容を確認できます。

上記の事由の場合、配偶者を入力していないか確認してください。配偶者を入力している場合は、「〇-あなたの所得情報」画面に戻り、配偶者「無」を選択してください。

※下矢印を押すことで入力済みの配偶者が表示されます。

2. 家計が急変した状況について、急変者ごとに入力してください。

- (1) 急変者1（家計が急変した者1人目）

- (a) あなたからみた急変者1の続柄を選択してください。

※申込者本人又は配偶者から該当する者を選択してください。

※申込者本人の同一生計の父母に家計急変事由が発生した場合は、「申込者本人」を選択してください。

- (b) 家計が急変した事由（該当する事由を1つ選択してください。）

1) 死亡

以下の該当するものを選択してください。

※配偶者が死亡した場合は、「〇-あなたの所得情報」画面で配偶者を入力しないでください。（上記【注意事項】参照）

※被災等により、配偶者等が死亡した場合は、「〇-家庭事情情報」画面に被災した災害（災害が発生した日付、被災地域）を入力してください。

配偶者が死亡

申込者本人の同一生計の父母が死亡

2) 事故、病気等

以下の該当するものを選択してください。（いずれにも該当する場合は、【休職による収入減少】を選択してください。）

※【休職による収入減少】について、既に復職している場合は申請できません。

申込者本人又は配偶者が事故、病気等となり就労困難【休職による収入減少】

（家族の看護、介護による休職を含む）

申込者本人の同一生計の父母や他の家族が事故、病気等となり家計が急変【申込者本人の支出増大】

（申込者自身の治療費等による支出増大を含む）

3) 失職（退職、会社倒産、廃業）

以下の該当するものを選択してください。

進学又は学業専念を理由とする退職の場合も申請できます。

※失職後に再就職、起業している場合は申請できません。

申込者本人又は配偶者が失職

申込者本人の同一生計の父母が失職

4) 震災、火災、風水害等に被災

以下の該当するものを選択してください。

※被災等により、配偶者等が死亡した場合は、「1) 死亡」を選択してください。

※被災等により、配偶者等が行方不明や生死不明の場合は、「6) 離別（離婚・行方不明等）」を選択してください。

被災等により、収入が無くなった

被災等により、収入が減った

被災等により、支出が増えた（収入状況は変化なし）

申込者本人の同一生計の父母の被災等

被災した災害が以下の選択肢にある場合は、
該当のものを選択してください。

5) 配偶者等による暴力等から避難

以下の該当するものを選択してください。

配偶者等による暴力等から避難している状況が分かる証明書類の提出が必要です。

※避難の原因となった人物（暴力等を加えた者）が配偶者の場合は、「○-あなたの所得情報」画面で配偶者として入力しないでください。（13ページ上部【注意事項】参照）

- 配偶者による暴力等から避難
 申込者本人の同一生計の父母による暴力等から避難

6) 離別（離婚・行方不明等）

以下の該当するものを選択してください。

※離婚調停中で別居しており、同一生計と認められない場合は申請できません。

※被災等により、配偶者等が行方不明や生死不明の場合は、「○-家庭事情情報」画面に被災した災害（災害が発生した日付、被災地域）を入力してください。

※配偶者と離別した場合は、「○-あなたの所得情報」画面で配偶者を入力しないでください。（13ページ上部【注意事項】参照）

- 配偶者との離別
 申込者本人の同一生計の父母との離別

7) 進学・学業専念のための休職（申込者本人のみ）

※申込者本人が休職した場合のみ申請できます。

※既に復職している場合は申請できません。

(c) 家計が急変した事由が発生した年月日（半角数字）
 西暦（4桁） 年 月 日

※申込期限は事由発生年月日から12か月以内（事由発生が進学前の場合は、進学後3か月以内）です。スカラネット入力完了日（申請日）時点で期限を過ぎている場合は、申請要件に該当しません。

(d) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までの収入について、該当するものをすべて選択してください。

※収入の確認が必要となる事由を選択した場合は、収入の項目が表示されます。家計急変事由が発生した年月日の翌月からスカラネット入力完了日（申請日）の前月までに税の申告が必要な収入がある場合は、該当する項目にチェックを入れてください。

※チェックを入れると、各項目に応じた提出書類や注意事項が表示されます。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1) 給与所得 | <input type="checkbox"/> 6) 利子所得 |
| <input type="checkbox"/> 2) 事業所得（営業等所得、農業所得） | <input type="checkbox"/> 7) 配当所得 |
| <input type="checkbox"/> 3) 年金（公的年金等控除が適用される年金） | <input type="checkbox"/> 8) 譲渡所得 |
| <input type="checkbox"/> 4) 不動産所得 | <input type="checkbox"/> 9) 一時所得 |
| <input type="checkbox"/> 5) 雑所得（「3）年金」を除く） | <input type="checkbox"/> 10) 山林所得 |
- 11) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までに、1)～10)の収入はありません

以下のフローチャートを使って、未申告の収入がないことを確認してください。

提出書類の自己点検用フローチャート ←収入に関する証明書類の提出が必要か確認できるフローチャートが表示されます。

(2) 急変者2（家計が急変した者2人目）

※家計が急変した者の人数を2人とした場合、急変者2の設問が表示されます。2人目についても同様に入力してください。

(3) 家計が急変した状況について、急変者ごとに入力した内容に誤りがないかをもう一度確認してください。

・家計が急変した事由や、事由が発生した年月日に誤りがないか。入力した収入項目に漏れや誤りがないか。

※家計急変事由や各収入項目の注意事項についても、必ず確認してください。

確認しました

3. 緊急採用（第一種奨学金）を申込む人のみ、希望する貸与始期を入力してください。（半角数字）

なお、あなたの希望する応急採用（第二種奨学金）の貸与始期は **自動表示** です。

西暦（4桁） 年 月

※貸与始期は、家計急変事由が生じた年月（申込みから12か月以内。入学した月を限度として遡及可）以降を入力してください。

※留年に相当する期間を貸与始期にすることはできません。

※応急採用（第二種奨学金）を申し込む場合、あなたが「○-奨学金貸与額情報」2.(2)で入力した年月が表示されます。

→「○-奨学金振込口座情報」の設問（12ページ）に戻ってください。

【マイナンバー（個人番号）の提出等に関する入力内容記入欄】

スカラネットから申込情報を入力した後は、**マイナンバー提出等の手続き**が必要です。「奨学金案内」で「マイナンバー提出等の手続き」の画面を確認しながら、入力内容を記入してください。

【入力前に、手元に用意するもの】

- ・あなたのマイナンバー（個人番号）及び住民票住所を確認するための書類（マイナンバーカード等）
 - ・配偶者（いる場合のみ）のマイナンバー（個人番号）及び住民票住所を確認するための書類（マイナンバーカード等）
- ※必ず許可を得たうえで受け取ってください。

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄										
全員	<p>STEP 1 個人番号提出可否</p> <p>表示されている情報に誤りがある場合は、画面を閉じて学校担当者に連絡してください。</p> <p>1. 登録されているあなたの情報は以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="296 562 970 712"> <tr><td colspan="2">あなたの情報</td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した現住所</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>あなたの情報に誤りがないか確認してください。</p> <p>あなたは個人番号を提出できますか。</p> <p><input type="radio"/>提出できます <input type="radio"/>提出できません</p> <p>個人番号の提出ができない人は、理由としてあてはまるものを選択してください。 ※別途、課税（非課税）証明書等の証明書類を提出する必要があります。</p> <p><input type="radio"/>海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため提出できない <input type="radio"/>その他の事情により提出できない</p> <p>提出できない「その他の事情」を入力してください。（全角50文字以内）</p>	あなたの情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示	生年月日	自動表示	<p><input type="checkbox"/>確認しました</p>
あなたの情報												
漢字氏名	自動表示											
カナ氏名	自動表示											
奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示											
生年月日	自動表示											
全員	<p>STEP 2 住民票住所</p> <p>1. 登録されているあなたの情報は以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="296 1621 970 1771"> <tr><td colspan="2">あなたの情報</td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した現住所</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>あなたの 住民票記載 の住所を入力してください。</p> <p>郵便番号（ハイフンなし）</p> <p>住所1（自動入力）</p> <p>住所2（番地以降）</p>	あなたの情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示	生年月日	自動表示	<p>番地まで自動表示</p>
あなたの情報												
漢字氏名	自動表示											
カナ氏名	自動表示											
奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示											
生年月日	自動表示											

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄																				
全員	<p>2. 登録されている配偶者の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="295 226 970 383"> <thead> <tr> <th colspan="2">配偶者の情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漢字氏名</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>奨学金申込時等に入力した現住所</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td>自動表示</td> </tr> </tbody> </table> <p>配偶者の 住民票記載 の住所を入力してください。</p> <p style="text-align: right;">「申込者本人と同じ住所を自動表示する」ボタンを押すと申込者本人の住民票住所が自動で入力されます。</p> <p>郵便番号（ハイフンなし）</p> <p>住所 1（自動入力）</p> <p>住所 2（番地以降）</p>	配偶者の情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示	生年月日	自動表示	<table border="1" data-bbox="948 472 1439 573"> <tr> <td style="width: 150px;"></td> <td>番地まで自動表示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		番地まで自動表示								
配偶者の情報																						
漢字氏名	自動表示																					
カナ氏名	自動表示																					
奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示																					
生年月日	自動表示																					
	番地まで自動表示																					
全員	<p>STEP 3 個人番号</p> <p>個人番号画面は一時保存できません。</p> <p>1. 登録されているあなたの情報は以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="295 707 970 864"> <thead> <tr> <th colspan="2">あなたの情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漢字氏名</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>奨学金申込時等に入力した現住所</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td>自動表示</td> </tr> </tbody> </table> <p>あなたの個人番号を入力してください。</p> <p style="background-color: #cccccc;">※マイナンバーカード等を確認し、正しい個人番号を入力してください。 他の人の個人番号を入力したり、個人番号の全部または一部の入力を誤ると、奨学金の選考が行えません。十分注意して入力してください。</p> <p>確認のため、再度個人番号を入力してください。</p> <p>2. 登録されている配偶者の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="295 1167 970 1323"> <thead> <tr> <th colspan="2">配偶者の情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漢字氏名</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>奨学金申込時等に入力した現住所</td> <td>自動表示</td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td>自動表示</td> </tr> </tbody> </table> <p>配偶者の個人番号を入力してください。</p> <p style="background-color: #cccccc;">※マイナンバーカード等を確認し、正しい個人番号を入力してください。 他の人の個人番号を入力したり、個人番号の全部または一部の入力を誤ると、奨学金の選考が行えません。十分注意して入力してください。</p> <p>確認のため、再度個人番号を入力してください。</p>	あなたの情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示	生年月日	自動表示	配偶者の情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示	生年月日	自動表示	<p>個人番号 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/></p> <p>※この用紙には記入しないでください。</p> <p>確認用 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/></p> <p>個人番号 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/></p> <p>※この用紙には記入しないでください。</p> <p>確認用 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/></p>
あなたの情報																						
漢字氏名	自動表示																					
カナ氏名	自動表示																					
奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示																					
生年月日	自動表示																					
配偶者の情報																						
漢字氏名	自動表示																					
カナ氏名	自動表示																					
奨学金申込時等に入力した現住所	自動表示																					
生年月日	自動表示																					

入力後、「次へ」ボタンを押すと、**STEP 4 入力内容確認**に進みます。入力内容を確認してから「送信」ボタンを押してください。マイナンバーの提出状況はスカラネットのメインメニューで確認できます。